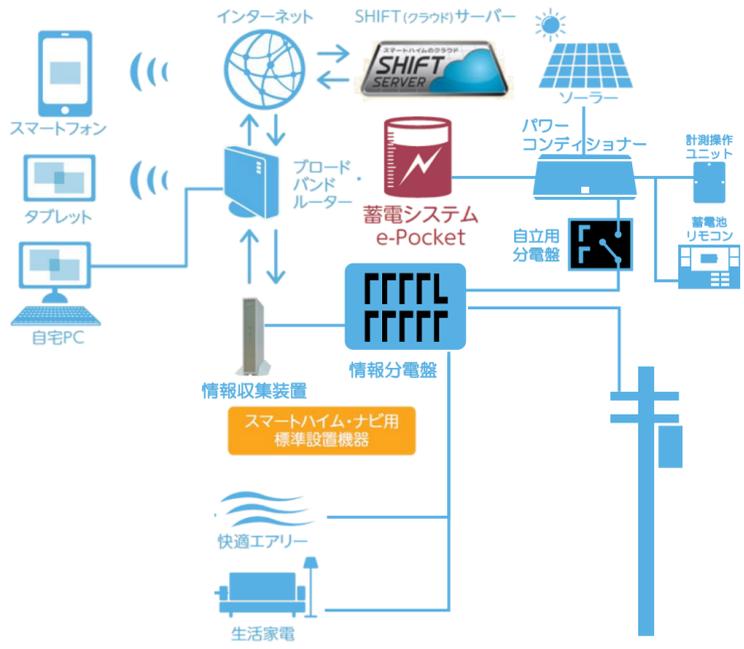




蓄電システム e-Pocket 設定・操作ガイド①

東芝製 5.0kWh (ハイブリッド)

■システム全体像



室内リモコン画面の説明

- [おまかせ]ボタン (おまかせランプ)**
おまかせ運転をON/OFFするときに使用します。
- [履歴]ボタン (履歴ランプ)**
「推移グラフ」や「本日/前日比較」を確認できます
- モニター**
運転モードや動作状態の注意事項などを表示しています。
- [選択]ボタン**
設定内容を選択する時に使います
- [決定]ボタン**
各種設定の内容を決定したいときに使います
- [充電]ボタン (充電ランプ)**
充電運転を開始・停止します。
- [放電]ボタン (放電ランプ)**
放電運転を開始・停止します。
- [メニュー]ボタン**
各種設定を行います。
- [戻る/取消]ボタン**
設定中の操作を戻す時や運転を取り消す(運転を停止する)時に使います
- [運転切/入]ボタン**
運転を開始するときや運転を停止するときに使います

■蓄電池本体



停電時の使い方

① 停電時は自動的に放電します。
(自立運転(非常運転モード)に切り替わります。)
蓄電池からの電力で、非常時兼用スイッチや非常時兼用コンセントに接続した電化製品を使用することができます。
(1,200Wまで同時利用が可能です)

家電製品の消費電力量の目安(W/台) 計463W			
テレビ:200W	冷蔵庫:70W	電話機:5W	パソコン:150W
スマートハイム・ナビ情報収集装置:14W			
照明(LED照明):10W	ルーター:14W		

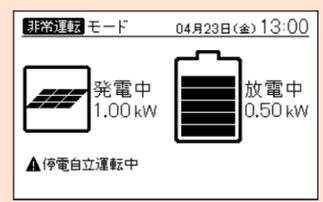
※消費電力量は目安であり機種および動作状態により異なります

② 停電時は太陽光発電も自動的に使えます。

自立運転モードに切り替わると、太陽光発電が使用できるときは、自動で太陽光発電からの電力を充電して使用することができます。復電時は、約5分後に自動で再び通常運転モードに切り替わります。



停電が発生したら



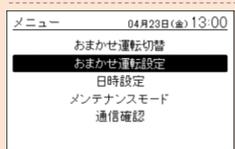
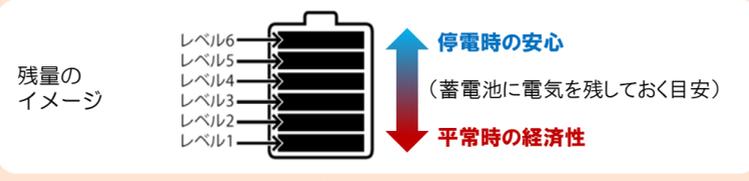
停電が発生すると、停電から約5秒後に、非常運転モード画面が表示され、自動的に自立放電を行い非常時兼用スイッチ・コンセントに通電します。

MEMO 停電が発生し自立運転(非常運転モード)になるまでの間(約5秒間)は、非常時兼用スイッチ・コンセントに通電されません。ビデオやパソコンなどの記録機器を使用の際はご注意ください。
・自立運転時の放電は電池残量がなくなるまで行います。
・自立運転時の放電を終了したい場合には[運転切/入]ボタン [運転切/入] を3秒間押ししてください

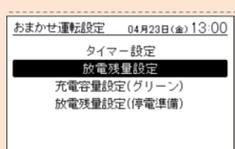
おしり 放電時に蓄電システムから非常時兼用スイッチ・コンセントに放電できる電量は、最大1.5kWです。この電力を超えて電気機器を運転すると、動作が止まります。また電気機器によっては、電源投入時に大きな電流が流れる場合があるため、機器が使用出来なかつたり一時的に不安定な動作になることがあります。このようなときは使用している電気機器の数を減らしてください。

もしもの停電に備えた設定

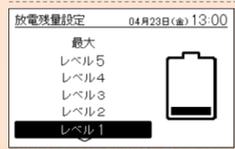
急な停電時でも蓄電池から給電できるように、自立運転(非常運転モード)用に電池残量を確保しておくための設定です。通常運転時の放電は、電池残量が本設定値まで低下した時点で終了します。



メニューボタンを押し、「おまかせ運転設定」にカーソルを合わせ「決定」を押す。



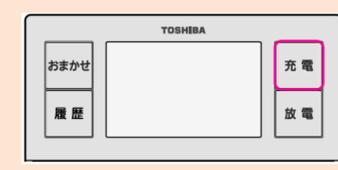
「放電残量設定」にカーソルを合わせ「決定」を押す。



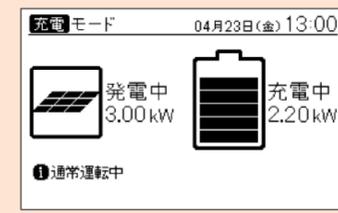
上下矢印ボタンで電池の放電残量を選択します。設定値までの目盛りがすべて黒色になります。

予測される停電に備えた設定

事前に停電時間が分かっている場合は、停電開始時刻の2~3時間前に、コントローラの「充電」ボタンを押して充電を開始。満充電にしておきます。充電にかかる時間は、その時の電池残量により異なります。



コントローラの充電ボタンを停電開始の2~3時間前に押す
※充電するために電力を最大2.2kW使用します。他にお使いの電気機器の消費量を減らすなど全体の使用量にご注意ください。



充電が開始されます。充電完了後は充電前の運転に戻ります。

- ・この「充電」運転は、充電容量設定にかかわらず、フル充電します。
- ・フル充電に達した場合は、「充電」運転は終了し「充電」運転前の状態に戻ります。
- ・「充電」運転中に[充電]ボタンを押すと、「充電」は終了し「充電」運転前の状態に戻ります。
- ・「充電」運転中に、[運転切/入]ボタンを3秒間長押しすると、運転は終了します。



蓄電システム e-Pocket 設定・操作ガイド②

東芝製 5.0kWh (ハイブリッド)

おもな運転モードの種類と変更方法

お好みの運転モードを設定することができます。
通常の運転では、下記のどちらかのモードを選びます。

経済性を重視したエコノミー設定
経済モード

割安な深夜電力で充電。朝～夕の電力使用量が多い時間に放電することで電気料金を節約。

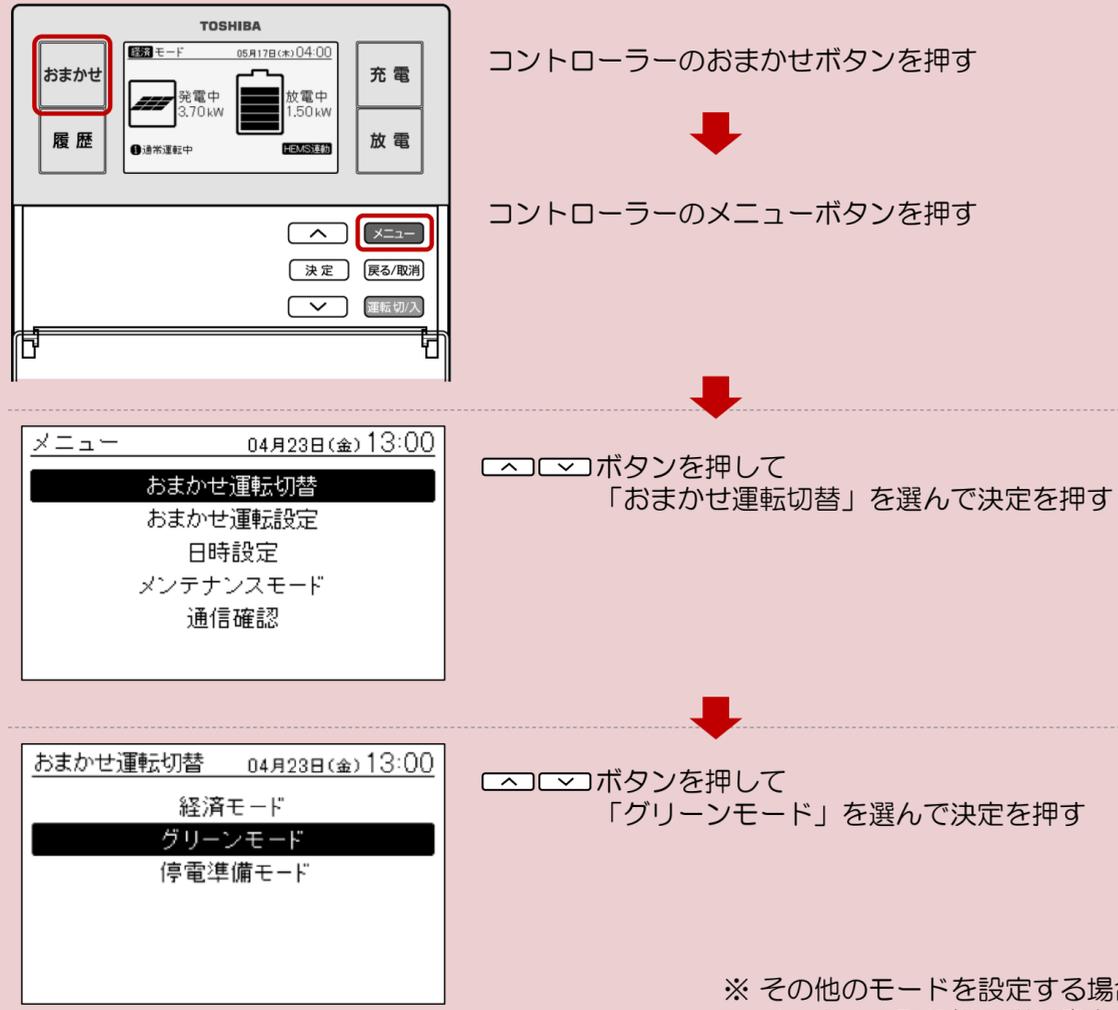
太陽光発電の電力は家庭内で使用し、余剰分を電力会社に売電します。売電中は蓄電池は放電せず、使用電力が太陽光発電電力より多いときに放電します。

環境を重視したエコロジー設定
グリーンモード

おもに太陽光発電の電力で充電。その電力を使うことで環境にやさしい暮らしを実現。

太陽光発電の電力は家庭内で使用し、余剰分を蓄電池に充電します。その昼間に貯めた電力をおもに夕・夜に使用します。

初期設定は **経済モード** です。 **グリーンモード** を選ぶ場合は、下記の操作が必要です。



※ その他のモードを設定する場合はメーカーの取り扱い説明書をご確認ください

充放電時間の変更方法

経済モード・グリーンモードの充放電時間を調整することができます。
充放電時間を変更する場合は以下に合わせて設定することをおすすめします。

	充電時間	放電時間
経済モード	契約電力プランの深夜時間	充電時間以外
グリーンモード	契約電力プランの深夜時間 太陽光発電の余剰電力が充電できるよう短い時間で設定してください	契約電力プランの深夜時間以外

※ グリーンモードの充電時には買電による充電が行われます。昼間の太陽光発電の余剰分による充電は放電時間に行われます
※ グリーンモードで太陽光発電の余剰分による充電を使い切れない場合は、放電時間を充電時間以外としてください。

